



ニコニコ岩
微笑み増!?

王子ヶ岳

中国四国地方環境事務所

CHUGOKU-SHIKOKU Regional Environment Office

5月21日(日) 〒700-0907
岡山県岡山市北区下石井 1-4-1
岡山第2合同庁舎 11F
<https://chushikoku.env.go.jp/>

当初指定の決め手となつた鷺羽山からの眺望。



世界を魅了する、
美しい多島海景観。

瀬戸内海国立公園
SINCE 1934

指定 瀬戸内海 90周年 国立公園

2024年5月21日

「猪にエサをあげないでえ〜!!」

TMN4.8プロデューサー交代!!



本命鷺羽山

6	5	4	3	2	1	指定
△ - △	○ ○ △ △	▲ ▲ -	△ △ △ ○	△ △ ○ ○	◎ ◎ ○ △	デスク 古川 林大 中山
鞆の浦	王子ヶ岳	周防大島(海域)	五色台	寒霞溪	鷺羽山	地域名
S9	S9	H25	S25	S9	S9	指定
広島	岡山	山口	香川	香川	岡山	所属

◇瀬戸内海指定90周年記念

(令和六年三月一六日)

青空に舞い上がる連風
(倉敷市提供)



88周年は凧揚げ大会

倉敷市は2年前の令和4年8月8日に鷺羽山第二展望台展望台にて指定88周年記念して凧揚げ大会を開催した。島根県の連凧愛好家アドバイスのうけながら、地元園児らおよそ30名が凧揚げを楽しみ、88枚の連凧が瀬戸内海の青空に舞った。

瀬戸内海国立公園が令和6年に指定90周年を迎える。瀬戸内海国立公園は昭和9年3月16日に我が国初の国立公園に鷺羽山(倉敷市)や屋島(高松市)を始めとする備讃瀬戸地域が指定された。数回の追加指定を経て、

現在では1府10県にまたがり海域を含めると日本最大の面積を誇る国立公園となった。記念式典は岡山県と香川県とで持ち回りで開催しており、今回は令和6年夏以降に岡山県内にて開催予定である。

記念式典は令和6年夏以降開催

脱力系行政まんが

アウトドアももたろう
~国立公園と農泊の秘密~
大好評配布中!!

激レア 発生確率10万分の1

白ナマコ

澁川マリン水族館

展示中

中国四国入泊2号



チヌを食べられえ。

アカミミガメ・アメリカザリガニをすてちゃおえん。

瀬戸内海国立公園内にある澁川マリン水族館（玉野市）に10万匹に1匹といわれる、白ナマコが展示中である。青ナマコが変異したもので縁起物といわれており、館長によると全国高校選手権優勝したサッカー部監督も大会前に願掛けに同博物館を訪れたとのこと。全国的に白ナマコの展示は珍しい。

（写真 玉野市提供）

通常の黒ナマコとツーンヨット（玉野市HPより）



中国四国地方環境事務所

CHUGOKU-SHIKOKU Regional Environment Office

8月2日(水) 〒700-0907 岡山県岡山市北区下石井 1-4-1 岡山第2合同庁舎 11F <https://chushikoku.env.go.jp/>

瀬戸内海国立公園指定 90 周年記念式典

倉敷開催決定

来年10月

テーマ・シンボルマーク決定

つなぐ つたえる つながる
瀬戸内海



記念式典実行委員会にて、式典テーマ、シンボルマークが発表された。シンボルマークは指定70周年記念時に作成されたマークを改訂した。種類はカラー、モノクロともに日本語、英語版の計4種類。今後、実行委員会事務局にて運用方法を検討する。

瀬戸内海国立公園90周年記念式典実行委員会にて委員長就任挨拶をする中国四国地方環境事務所長



地域で盛り上がりを。

7月20日、岡山県庁にて第1回瀬戸内海国立公園指定90周年記念式典実行委員会（構成中国四国地方環境事務所、岡山県、倉敷市）が開催された。同委員会にて記念式典実施方針が承認され、来年10月に倉敷市内にて式典が開催となった。具体的な式典内容は今後調整のされ、3月に開催予定の第2回委員会で予算案とプログラム案が決定される見込み。

配布中

脱力行政手帳がアウトドアももたらう
国立公園と島の秘密

全国各地にある34の国立公園。

日本の国立公園には、
有名な観光地も多く含まれており、
知らないうちに国立公園を
訪れているかもしれません。

そこには、四季折々に表情を変える
美しい自然があり、
日本を代表する風景やいきものが
多く存在します。

世代を超えてすぐれた自然に感動し、
楽しむことができるように、
その風景を守り、
後世に伝えようとする場所でもあります。

世界でも稀な、自然と人の暮らしが
ともにある国立公園。
壮大な景色や手つかずの
自然だけではなく、
その土地で生きる人々が、
自然と調和して作り出した
暮らし・伝統文化・食など、
そこにはさまざまな物語があります。



妙高戸隠連山国立公園



伊勢志摩国立公園



雲仙天草国立公園



阿寒摩周国立公園

日本の国立公園



知床国立公園



屋久島国立公園



富士箱根伊豆国立公園



十和田八幡平国立公園



三陸復興国立公園



西表石垣国立公園



釧路湿原国立公園



日光国立公園



南アルプス国立公園



上信越高原国立公園

国立公園は、時代のニーズにあわせて
指定が行われてきました。
現在の多様な国立公園があるのは、
時代とともに風景や自然の評価が
変化・多様化してきたからです。

- ▶ 名所・旧跡・伝統的な探勝地
- ▶ 山岳など原始性の高い自然の大風景
- ▶ 居住地に近接したレクリエーションに適した地
- ▶ 海蝕崖・リアス式海岸などの海の風景
- ▶ 自然性の高い生態系の景観
- ▶ サンゴなどの海中景観
- ▶ 野生生物の生息地
- ▶ 広大な湿原景観

穏やかな海に大小の島々がうかぶ瀬戸内海。
同じ展望地からみる景色も、季節や時間を変えると
色やひかり、ふんいき、いつも違う姿を見せてくれる。
さて、今日はどんな景色がみられるのかな？



瀬戸内海国立公園

日本で最初に指定された国立公園

1934年（昭和9年）に雲仙、霧島とともに日本で最初の国立公園に指定されました。

国内で最も広い国立公園

1府10県にまたがり、海域を含めると90万haを超える、国内で最も広い国立公園です。明石・紀淡・鳴門・関門・豊予の5つの海峡に囲まれた地域のうち、広い海域とそこに点在する島々、それを望む陸地の展望地が公園区域として指定されています。



交易の栄えた瀬戸内航路、今も残る港町

瀬戸内海は、古来より国内外を結ぶ海上交通の大動脈でした。江戸時代には瀬戸内海航路が整備され、北前船や朝鮮通信使などが国内外から来航し、潮待ち・風待ちのために立ち寄る港町は、人と文化が交流し、繁栄しました。

今でも牛窓・下津井・鞆の浦・尾道・御手洗・室積などの歴史情緒ある町並みが各地で見られます。

また、瀬戸内海は複雑な潮流と地形のため、操船に長けた塩飽水夫や村上水軍が活躍していました。

瀬戸内海国立公園の移り変わり

古代～中世
(7～17世紀初め)

「万葉集」・・・瀬戸内海の117か所が詠まれる
 「古事記」「日本書紀」「風土紀」・・・瀬戸内海の海や島を舞台にした神話・伝説が記される
 「伊勢物語」「土佐日記」「源氏物語」など・・・住吉、芦屋、明石、須磨などが名所化される
 「平家物語」「太平記」などの軍記物・・・源平合戦跡地が名所化される

瀬戸内海の風景は、住吉、須磨、屋島、壇ノ浦など名所として、古代から人々に賛美されていた

近世
(17～19世紀初め)

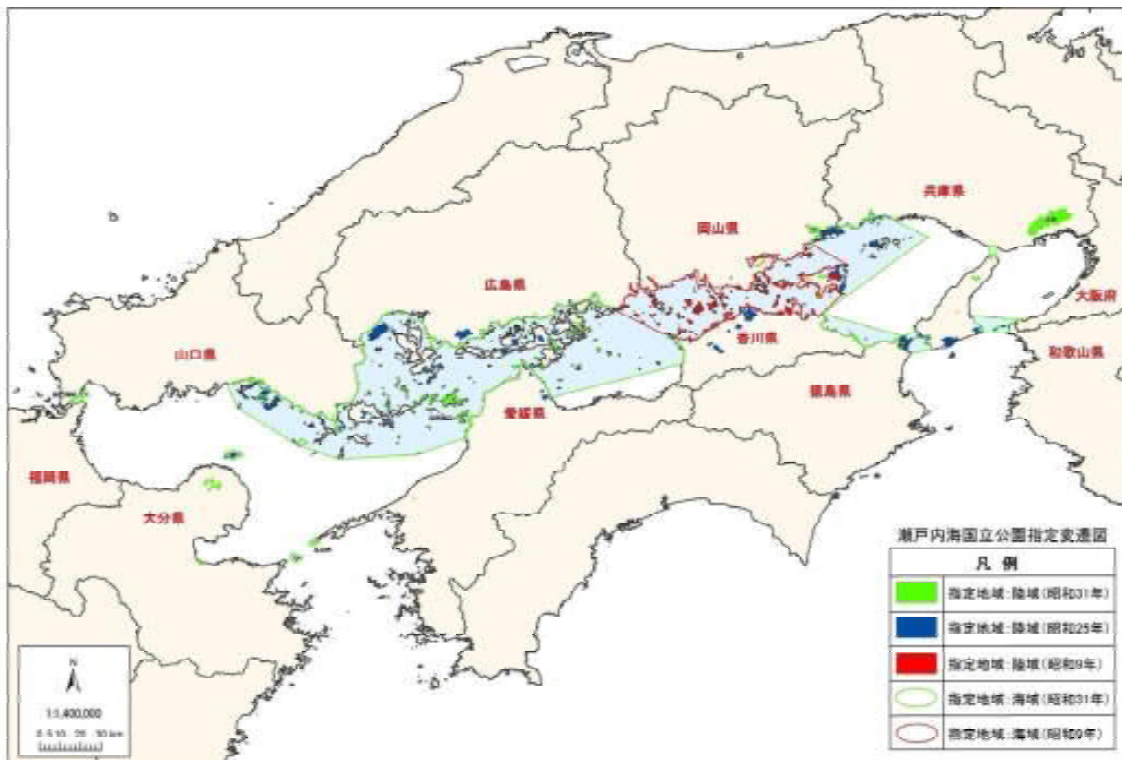
ドイツ人医師・シーボルトが瀬戸内海の多島海景観を賞賛し、旅行記に記す
 その後も来日した欧米人が、瀬戸内海の風景を絶賛し、そのようすを旅行記に記す
 1860年、ドイツの地理学者であり、シルクロードを定義・命名したフェルディナント・フォン・リヒトホーフェンが旅行記に「the inland sea」と記し、その訳語から「瀬戸内海」という言葉が生まれる

近世になると、瀬戸内海の風景は欧米人から賞賛された。

その影響もあり、それまでの個々の名所から瀬戸内海全体を一つの美しい景観としてとらえるように

近代～現代
(19世紀～)

- 1872年・・・世界で初めての国立公園「イエローストーン国立公園」がアメリカに誕生
- 1911年・・・香川県出身の国会議員・小西和が瀬戸内海の総合的な書物「瀬戸内海論」を出版
- 1921年・・・世界の各地で国立公園が指定される中、富士山に関する国立公園設定の請願が採択
これをきっかけに日本でも16の国立公園候補地で実地調査を開始
- 1929年・・・候補地を調査中、理学博士・脇水鐵五郎が鷺羽山からの優れた展望を発見
国立公園委員会で、候補地を屋島・小豆島から備讃瀬戸一円に広げることを提案
- 1931年・・・「国立公園法」が制定
- 1934年・・・日本で初めての国立公園「雲仙」「霧島」「瀬戸内海」が誕生
(昭和9年) 小豆島、屋島、鷺羽山、王子ヶ岳、仙酔島など島しょ部を含む備讃瀬戸が指定
- 1950年・・・瀬戸内海国立公園 1次拡張
(昭和25年) 新和歌浦（和歌山県）～姫島（大分県）の島しょ部や自然環境のすぐれた場所、海水浴場、多島海景観を眺められる展望地が新たに指定
- 1956年・・・瀬戸内海国立公園 2次拡張 現在の国立公園区域が確定
(昭和31年) 海域、海水浴場やキャンプ場など利用拠点になる地域を新たに指定



鷺羽山から眺めた備讃瀬戸



1921年 指定当初 (倉敷市所蔵資料)



1964年 (写真提供：河田隆弘)



1975年 (写真提供：河田隆弘)



2014年

わしゅうざん びさん
鷺羽山からの備讃瀬戸
(岡山県倉敷市)

塩飽諸島など備讃瀬戸の島々の先に、おにぎり山が特長の讃岐平野が眺められます。瀬戸内海国立公園の核心となる「多島海景観」が発見され、日本で最初の国立公園指定への決め手となった展望地です。



せとうちの風景

多島海景観

大小727の島々が点在する瀬戸内海。同じ場所から眺める風景も、季節や時間を変えると全く違う姿を見せてくれます。また、船から見る流れゆく島影の風景は、古くから海外の方に賞賛されてきました。



備讃瀬戸からの夕景
(香川県坂出市)

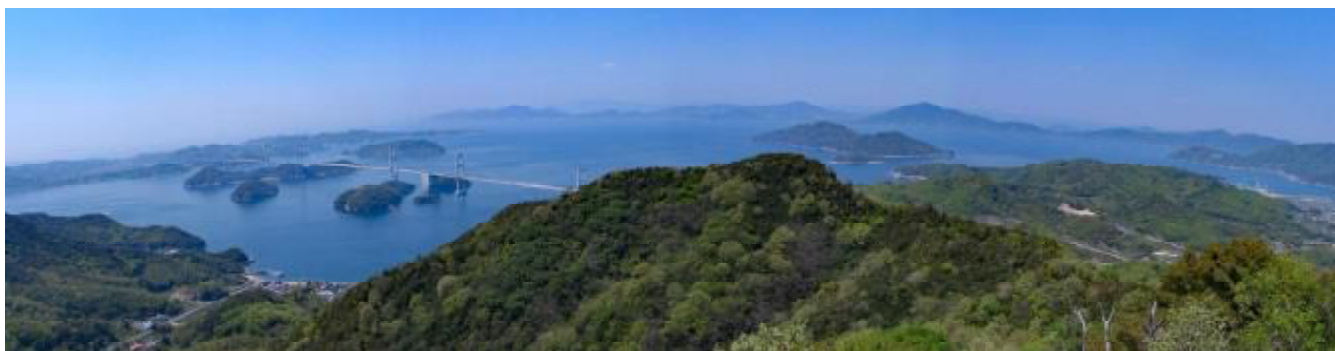
船や海沿いからは、ゆっくと島に沈みゆく夕景が眺められます。

因島公園から
芸予諸島を望む
(広島県尾道市)



くるしま

来島海峡一望 (愛媛県今治市・大島) 亀老山 (きろうさん) 展望台からは芸予諸島・来島海峡が一望でき、瀬戸を行き交う帆船や潮流の速さが変わる潮目を見ることができます。





鹿島の段々畑

(広島県呉市)

平地の少ない島では、石垣を積み上げた段々畑で作物を育てます。かつては瀬戸内の多くの島でみられた風景です。昔は山頂近くまで段々畑が続き、斜面いっぱいに積まれた石垣はまるで要塞のようでした。段々畑は少しずつ減り、放棄畑は森へと、人の暮らしとともに島の風景も少しずつ変化しています。

瀬戸内海に浮かぶ筏

(岡山県瀬戸内市)

波の穏やかな湾内や灘では、牡蠣や海苔などの養殖筏が浮かぶ風景が見られます。人の暮らしが溶け込んだ風景だけでなく、ここではどんな魚介が獲れるのか、地域の食も想像させてくれるのも筏の風景ならでは。



せとうちの風景

人文景観

瀬戸内は古くから海上交通の要衝として栄え、人が交流することで歴史や文化が生まれ、発展してきました。

今でも残る昔ながらの港町や段々畑、寺社仏閣、白砂青松など、自然とそこで暮らす人の営みが溶け込んだ風景が瀬戸内には残っています。



鹿島に残る島の暮らし

(広島県呉市)

広島県最南端の有人島・鹿島には漁村や段々畑の風景は瀬戸内の原風景として残り、今でも人々の営みが感じられます。



白砂青松・弓削の法王ヶ原

(愛媛県上島町・弓削島)

長い年月を経て花崗岩が風化してきた白砂に、青々としたクロマツが映える自然海岸も瀬戸内らしい風景のひとつです。

しまの神社と風景

古くは、法王ヶ原は海の玄関の役割を担っていたため、弓削神社の鳥居は参道ではなく、海に向かって建っています。本殿には見事な立て爪の龍の彫刻がみられ、10月には、だんじりや神輿、奴行列、奉納相撲などが3日間繰り広げられる秋祭りがあります。

島々では、こうした海に向かう鳥居や立派な松林をもつ神社がみられ、豊漁や豊作を願うお祭りが古くから受け継がれ、続けられています。一方で受け継ぐ人が少なくなり、なくなってしまった祭りもあります。

なると
轟音響く鳴門海峡
(徳島県鳴門市)

満潮と干潮時に見られる鳴門の渦潮は、深い海溝と浅瀬、播磨灘と紀伊水道から流れ込む潮の干満の差によってできる速い潮流のぶつかりなど鳴門海峡特有の地形によって発生します。潮汐差の大きい大潮のときには、最大直径20mもの渦が見られます。



せとうちの風景

自然景観

瀬戸内海独特の地形によってできる速く変化に富んだ潮流や渦がうまれる“動”の海域景観。風化や浸食によってつくられた彫刻のような“静”の山岳景観。一見穏やかな瀬戸内の中に対照的な自然景観が存在します。



コアマモ場
(広島県江田島市)

“海のゆりかご”とも呼ばれるアマモやガラモが茂る場所・藻場。魚の赤ちゃんが外敵から身を守り、生育する大切な場所です。



くにさき
国東半島の大不動岩屋
(大分県国東市)

千燈石仏付近の岩山を西不動と呼んでおり、大不動岩屋はその中でも一番大きな岩屋です。国東半島で古くから行われてきた六郷満山峯入りのコースをベースに、日本人の原風景を感じながら歩く「国東半島峯道ロングトレイル」として生まれ変わりました。

のしま
能島・荒神瀬戸
(愛媛県今治市)

速い潮流に囲まれた能島は、島全体が要塞の海城。ここは、村上水軍・能島村上氏の本拠地でした。





スナメリが巡遊する阿波島（広島県竹原市）

スナメリ

暖かい海を好み、小魚などを食べる瀬戸内海における生態系の頂点に立つ、ネズミイルカ科の海棲ほ乳類。東は仙台湾から西は有明海まで生息し、瀬戸内海は国内最大の生息地です。



ニホンアワサンゴ

(山口県周防大島町)

周防大島南東部沖で日本最大規模のニホンアワサンゴ群生地や藻場などの優れた海中景観の存在が確認されました。2013年に瀬戸内海で初めてとなる海域公園が誕生しました。

ニホンアワサンゴが生息する周防大島



せとうちの

いきもの

大小の島々からなる瀬戸内海には、干潟や藻場、磯や潮汐湿地など多様な生態系が存在します。太陽が降り注ぐ海中には、山から流れ込んだ豊富な栄養塩によって多くのプランクトンが発生し、そこからつながり、さまざまな生きものの楽園へと広がります。



カブトガニ

幼生の頃は干潟に、成体になると水深の深いところに生息します。2億年以上前から姿を変えていないことから「生きた化石」ともいわれています。

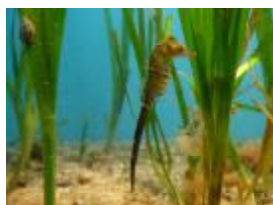


ハクセンシオマネキ

硬めの泥質、砂質の干潟に生息するカニ。特徴的な片方だけ大きなハサミは、オスのみを持っており、繁殖期になると、大きなハサミを振る姿（ウェーピング）を見ることができます。



タテジマイソゲンチャク



タツノオトシゴ



ウミノナ



スナガニ



沿岸部で見られるウバメガシの純林

かつてはアカマツ、クロマツ林が多かった瀬戸内の沿岸部も、近年は自然災害や松枯れが進んだことによってシイ、カシなど照葉樹林へと植生が移り変わってきました。このように環境の変化によって植生が移行した地域もあれば、宮島・弥山の針広混交林や昔から残る社叢など貴重な自然林が残る地域もあります。ともに瀬戸内の植生を特徴づけ、また現在の瀬戸内の風景をつくりだす大事な役割を担っています。

志々島・大楠

(香川県三豊市)

小さな島にそびえる樹齢約1,200年の大きな楠。



せとうちの

植 生

瀬戸内の沿岸部では、山地から海岸までそれぞれの環境に適応した植生がみられます。花や実をつけると、普段の景色に彩りを添え、私たちに四季の訪れを感じさせてくれるだけでなく、その小さく可憐な存在にも気づかせてくれます。



山野や岩場で見られる植物

沿岸部の植生は、四季の到来を告げる風物詩にもなり、また生きものの食草としての役割も担っています。



海浜で見られる植物

強風と乾燥に耐える葉や樹形をした海浜植物は、自然海岸の減少とともに数を減らしつつあります。



湿地で見られる植物

貴重な湿地には、葦栄養など厳しい環境条件に合わせて生育するたくましくも小さな植物がいます。



コバノミツバツジ



ツメレンゲ



ハマゴウ



スナビキソウ



サギソウ



モウセンゴケ

しうでやま しわく
紫雲出山から望む塩飽諸島

(香川県三豊市)

約1,000本の桜が開花する紫雲出山山頂。数種ある桜が時期をずらしながら咲くため、長く楽しめ、また違う景色を見せてくれます。桜の隙間から眺める多島海景観は春限定の風景であり、また多くの人を魅了します。



はなやぎの春

春の訪れとともに沿岸では桜やツツジが咲き始め、海は活気づき、瀬戸内は一気に華やぎをみせる。



いわじま せきぜんざん
岩城島・積善山の桜稜線
(愛媛県上島町)

3,000本以上の桜からなる鮮やかな桜稜線は、山頂展望台からだけでなく、登山道沿いからも楽しめる、しまなみ随一の桜の名所です。

しまの風景とひと

戦時中、石油の代替燃料として松根油（しょうこんゆ）を採取するするため、松を伐採していました。伐採された松の代わりに、故前田重作さんが現在の桜公園付近に4、5本の桜を植え始めたことをきっかけに、島民が桜の植樹を始め、現在でも、保育園卒園記念や還暦等の記念をはじめ、各種団体などが桜の植樹を行っています。この活動は、長年ボランティアによって行われ、現在では10種類を超える4,000本近い桜が植えられているそうです。積善山は文字どおり「善を積む山」として、島民にとってかけがえのない島の宝となっています。



とも うら
鞆の浦の伝統鯛網
(広島県福山市)

産卵のために外洋から鞆の浦に入ってきた鯛を狙う漁法で約380年続いています。5月には船に乗って伝統鯛網を観覧することができます。

コバノミツバツツジ (開花4～5月)

桜とともに春の到来を告げ、瀬戸内沿岸に色を添えます。



高島・ウミネコのコロニー

(大分県大分市)

高島は豊予海峡に浮かぶ周囲5.5kmの無人島です。島の東側の切り立った断崖を中心にウミネコが多く見られ、5,000羽以上が集まる一大繁殖地として、大分県の天然記念物に指定されています。大分県内のウミネコ繁殖地は高島のみであり、大変に貴重な場所となっています。



夏のにぎわい

陽射しが強くなった瀬戸内の海岸には多くの人と生き物があふれ、1年で最もにぎわう季節がやってくる。



からししま
唐荷島
(兵庫県たつの市)

3つの島からなる唐荷島は、大潮の時には2つの島が陸続きとなり、歩いて渡ることができる潮干狩りの穴場スポット。

うてな
台海岸
(愛媛県今治市・大三島)

本土から少し離れただけなのに、島の海水はこんなにも透明。



ちちぶがはま
父母ヶ浜
(香川県三豊市)

はまの風景とひと

干潮の夕方、風がやみ、海面が鏡のように景色を映し出すさまが「ウユニ塩湖」のようだといわれるようになった父母ヶ浜。
1995年頃、父母ヶ浜を埋め立てて工場を建てるという計画が持ち上がり、地元住民みんなで議論しました。「地元にとって父母ヶ浜がどんな存在なのか?」「自分たちで守るためには何をすればいいのか?」はっきりした答えが出る前の「まず第一歩」として、地元の有志7人で始めたのが浜のボランティア清掃。現在では、「ちちぶの会」メンバーが70人以上に増え、毎月第1日曜日に浜の美しさと自然を維持するための清掃活動を行っています。

かんかけい

紅葉と奇岩映える寒霞渓

(香川県小豆島町)

日本三大渓谷美に数えられる寒霞渓は1年を通して見応えがありますが、中でも最も美しいのは秋です。長年の風雨によってできた奇岩怪石に鮮やかな紅葉と常緑樹が合わさるその景色に、訪れた人は感嘆の声をあげます。



秋のいろいろ

色づいた紅葉が独特の山容や人文景観に溶け込み、鮮やかで美しい秋の瀬戸内景観をつくり出す。



鷺羽山からの夕景

(岡山県倉敷市)

地形が鷺が羽を広げた様子に似ていることから名付けられた鷺羽山。そこから見えるのは刻一刻と移ろう瀬戸内海。静まりかえる秋の夕暮れは、情緒ある風景を演出してくれます。

港町とひと

鷺羽山のふもとにある下津井は、瀬戸内海に面する港町。江戸時代～明治中期には、北前船による綿花、ニンシンの中継取引港として、また、海を隔てた讃岐金毘羅参りをする人々の宿場として大いに繁栄し、今でも当時の商家やニンシン蔵などが残され、当時の港町の雰囲気がよく残っています。現在は、廻船業・宿場町から漁業の港町へと移り変わり、タコやワタリガニ、シャコなど地元の魚介類が水揚げされています。11～12月には、下津井の風物詩・干しタコが漁港にならびます。



ちちぶがほま

父母ヶ浜

(香川県三豊市)

秋の夕暮れどきに見られる、空が朱や橙、黄色、紫などに色づくマジックアワー。風のない干潮時に訪れると、水面に空や人の姿が映り、鑑のような海が現れます。



宮島・山辺の小径

(広島県廿日市市)

厳島神社や五重の塔の朱色に引けをとらない鮮やかなモミジ。宮島の秋をより一層際立たせてくれます。



ななまがり

七曲滝の氷瀑

(兵庫県神戸市)

六甲山の有馬四十八滝を代表する七曲滝は、岩盤上を流れる落差20mの滝で冬季には凍結し氷瀑となることで知られています。そのダイナミックな自然の造形を見ようと、十分な装備と冬山経験などを積んだ登山者は寒波を待ち望みます。

ちょうしけい

銚子溪の二ホンザル

(香川県土庄町)

ふさふさの冬毛に生え変わった二ホンザル親子。この季節、寒さをしのぐためにたくさんのザルが身を寄せ合うザル団子が見られます。



澄みわたる冬

柔らかな陽射しと空気がピンと張り澄む瀬戸内の冬。山野では時に雪化粧をまとった静かな景色が広がる。



竜王山からの展望

(広島県三原市)

空気の澄む冬は多島海が最もきれいに見える季節です。遠く四国まで見渡すことができます。

灘黒岩水仙郷

(兵庫県南あわじ市)

7 haにわたって広がる500万本もの水仙と青い海や空とのコントラストは壮観で、淡路島の冬の風物詩です。



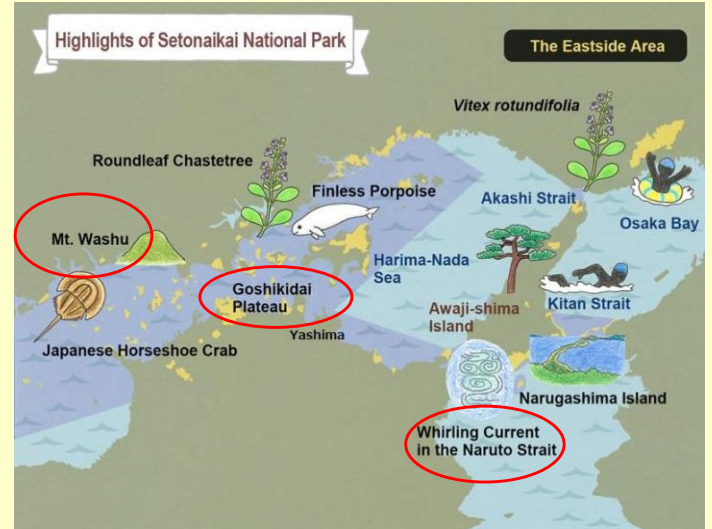
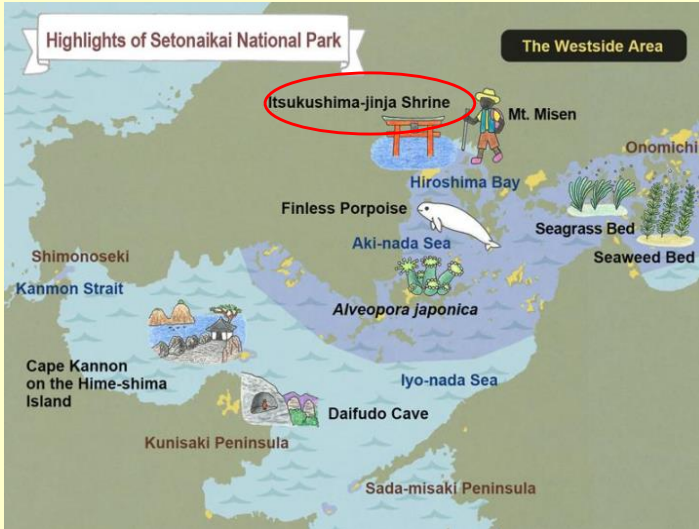
冬の海に現れる浮島現象 (山口県沖)

光の屈折が生む気象楼の一種で、暖かい海面の上に冷たい空気が流れ込む冬の季節に見られる現象です。

海風とくらし

冬になると、瀬戸内沿岸の山々にはたくさんのミカンが実り、毎日お店や道端の無人販売所にならびます。「今日は何のみかんにしようかな?」と、数もさることながら、種類も豊富で迷います。瀬戸内のみかんがおいしいのは、温暖な気候と水はけのいい土、太陽、そして海風です。海に反射した太陽光と海風によって、ミネラルを多く含んだ土が栄養価の高いミカンができるから。その反面、冬の強い西風は、人の生活にとっては大変なもの。島々では、強風に巻き上げられた潮を防ぐための高い石垣や西風が当たらない方向に集落をつくるなど、人の暮らしの工夫がみられます。

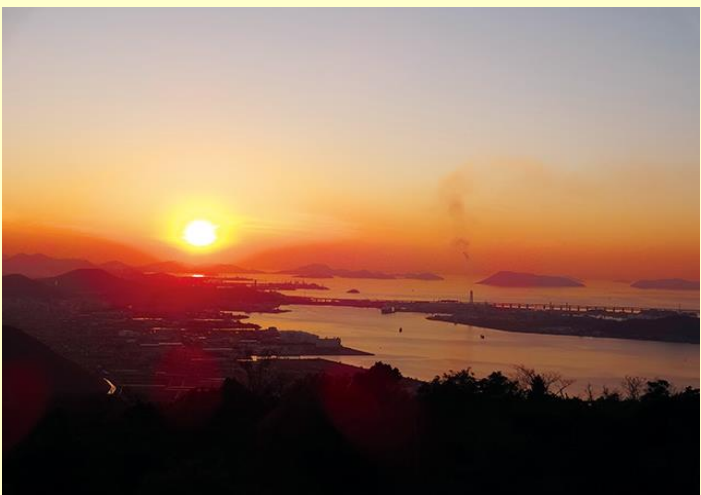
Highlights of Setonaikai National Park



Miyajima Itsukushima-jinja Shrine and Mt. Misen (Hatsukaichi City, Hiroshima Prefecture)



Mt. Washu (Kurashiki City, Okayama Prefecture)



Goshikidai Plateau (Sakaide City and Takamatsu City, Kagawa Prefecture)



Whirling Current in the Naruto Strait